

沖縄県の概要

1. 沖縄の概要

沖縄は、日本で唯一、県全体が亜熱帯海洋性気候に属しており、夏が長く冬も黒潮の関係で年間を通して暖かい気候となっています。

春や秋、冬が短く、本土に比べると季節変化があまり感じられない県であるといえます。

地理的に見ると大小160の島々から成り（沖縄群島、宮古群島、八重山群島）、その内の有人島は橋で結ばれた島を含めて48島となっています。総面積は2,266.9平方キロメートルで、全国では44位ですが、県域では那覇市から与那国島までの距離が東京都から徳島県の距離に等しく、全国一広域な県となっています。



2. 沖縄県の人口

沖縄県の人口は、約139万人（H22年県統計年鑑）となっています。日本全体が少子高齢化・人口減少の方向を歩んでいる中、沖縄県の人口は増加傾向にあります。その要因としては、①全国平均よりも高い出生率（全国平均が1.37人であるのに対し、沖縄県は1.79人：H21統計）による自然増加、②不景気に伴う労働者のUターンや移住ブームなどの社会増加が挙げられています。

市町村別では、那覇市の31万5602人が最も多く、次いで本島中部にある沖縄市の13万667人、うるま市の11万6087人の順となっており、最も人口の少ない渡名喜村（那覇市の北西約60km、久米島・多良間諸島・粟国島のほぼ中間に位置する島）は475人です。尚、当ホテルのある名護市は6万1062人となっています。

■ 市町村別の人口（単位：人）※H22年統計

市町村名	人口	市町村名	人口	市町村名	人口
那覇市	315,602	今帰仁村	9,462	渡嘉敷村	785
宜野湾市	93,035	本部町	13,837	座間味村	939
石垣市	46,933	恩納村	9,903	粟国村	849
浦添市	109,998	宜野座村	5,341	渡名喜村	475
名護市	61,062	金武町	11,033	南大東村	1,397
糸満市	57,170	伊江村	4,831	北大東村	592
沖縄市	130,667	読谷村	38,498	伊平屋村	1,363
豊見城市	57,218	嘉手納町	13,750	伊是名村	1,537
うるま市	116,087	北谷町	27,565	久米島町	8,488
宮古島市	52,203	北中城村	15,853	八重瀬町	26,218
南城市	39,734	中城村	17,417	多良間村	1,249
国頭村	5,172	西原町	34,730	竹富町	4,021
大宜味村	3,204	与那原町	16,357	与那国町	1,673
東村	1,783	南風原町	35,512		

3. 沖縄の気候

沖縄の気候の特徴は、年間を通じて温暖で過ごしやすく、最高気温と最低気温との差が小さい点です。年間の平均最高気温は26℃、平均最低気温は21℃となっています。夏は日差しがとても強いのですが、30℃を極端に超える日は少なく、冬場も10℃を切る日はほとんどありません。

また、沖縄は台風や熱帯低気圧の通りみちに当たり、長時間にわたって暴風雨が続くこともあります。沖縄の民家では、昔からフクギという防風林や石垣の塀で家の周りを囲い台風に備えていました。現在では鉄筋コンクリートの家が多く、屋根を平らにすることで台風対策をしています。

参考資料

- (1) 沖縄県企画部(2011)：平成22年沖縄県人口移動報告年報
- (2) 沖縄県企画部(2010)：第53回沖縄県統計年鑑
- (3) Ocvb(2010)：美ら島-沖縄観光情報ファイル

平均気温の推移

